



## 区議会第1回定例会

### 日本共産党が

# 予算組み替え動議

## 日本共産党の予算組み替え提案

- ①待機児解消のため、あらゆる区有施設を活用した認可保育所の増設。保育士の確保と処遇改善
- ②浮間唯一の路線、国際興業赤06系統への運行支援継続。新たなコミュニティバス路線の計画化
- ③国保料、介護保険料、後期高齢保険料を引き下げるための区独自の軽減策
- ④寡婦(夫)控除のみなし適用を、就学援助をはじめあらゆる制度に実施
- ⑤第2子の保育料・学童保育育成料の無料化。認証保育所の保育料補助増額
- ⑥子ども学習支援の高校生までの対象拡大と「子ども食堂」など子どもの居場所づくりの推進
- ⑦就学援助の入学支度金前倒し支給
- ⑧ひとり親家庭、低所得者に対するファミリー・サポート利用料の減額
- ⑨若者、子育て世帯に対する家賃助成制度創設
- ⑩特別養護老人ホームのさらなる増設
- ⑪民間空き家を高齢者、子育て世帯、若者などへの公営住宅として提供する制度の創設
- ⑫高齢者緊急通報システムの普及拡大
- ⑬65歳以上の障がい者が介護保険を利用する際にかかる新たな負担の軽減
- ⑭木造民間住宅の耐震助成のさらなる増額
- ⑮住宅リフォーム助成制度の拡充と新たな店舗リフォーム助成の実施
- ⑯感震ブレーカーの設置助成
- ⑰家具転倒防止器具助成の拡充

## 貧困と格差の是正など17項目

自民党、公明党など与党会派が反対し可決されず

23日の区議会第1回定例会最終本会議で、日本共産党北区議員団は北区の一般会計予算に対する組み替え動議を提出し、区民の切実な願いを実現する予算に切り換えるよう求めました。(のの山けん)

組み替え動議の提案理由では、「アベノミクス」の破たんが明らかになるもとで貧困と格差が深刻に広がっているにもかかわらず、新年度予算が区民のくらしを十分に応援するものとなっていないことを指摘。過去最高に積み上がった530億円を指摘。過去最高に積み上がった530億円を指摘。過去最高に積み上がった530億円を指摘。

区民の足を守るバス路(賛成は共産・新社)。

都宮章議員は、「230人以上の待機児が見込まれる保育所の増設や区民の足を守るバス路(賛成は共産・新社)。

実現を訴えています。討論の後、採決に付され、自民、公明など与党会派が反対したために、組み替え動議は可決されませんでした(賛成は共産・新社)。

の基金も活用し、子どもの貧困解決、困窮家庭や低所得者に対する支援強化を柱とした17項目(左枠内参照)の調しました。

線の確保など、どれも区民の切実な要求ばかり。140億円も積み上がっている財調基金の一部を活用すれば実現可能で、やる気さえあればすぐにでも予算化できる提案だ」と強調しました。



## 日本共産党演説会

4月2日(土)午後2時

赤羽会館講堂

主催/日本共産党北地区委員会 ☎3906-2821

# 議会の品位汚す公明党

23日の区議会本会議で、日本共産党が提案した「企業・団体献金の禁止を求める意見書」の反対討論に立った公明党の坂口勝也議員が、本筋から外れた異様な日本共産党攻撃をおこないました。最初は「企業・団体献金をなくすために努力をしてきたのが公明党」など、賛成討論とも見まがう議論を展開していた坂口氏。突然、「日本共産党はあつせん利得処罰法に反対したから信用できない。反対だけが実績でポリシーも何もない、コロナ主張が変わる政党だ」と攻撃。その後も「消費税絶対反対が、いつの間にか引き上げ反対に。消費税を増税するなどののは福祉切り捨てだ」「天皇が出席する国会開

## 意見書反対討論の場を借り、異様な日本共産党攻撃

会式に突然出ると言い出した。なぜ69年間も出なかったかのかが問われる」「憲法を守るというが、憲法制定時には反対した改憲政党というのが本場の姿だ」などと反共演説を続け、日本共産党を「都合主義、党利党略の党だ」と誹謗・中傷しました。発言は場違いということとどまらず、議会の品位を汚すものです。さらに、議会会派が提案する意見書は、政務調査会長会で事前調整をおこなうことになっていますが、内容云々ではなく「日本共産党が出す意見書だから」という反対理由は、政調会の存在意義ひいては民主主義を否定する主張に他ならないことを、厳しく指摘しておくものです。(のの山けん)

## 「原発なくせ」超党派で

さよなら原発  
in 飛鳥山2016



「さよなら原発in飛鳥山」に参加した超党派の区議会議員

13日、王子三角公園で、5回目となる「さよなら原発in飛鳥山」が開かれ、250人が参加しました。東日本大震災から5年が経過した今も、過酷事故を起こした福島第1原発の処理は遅々として進んでいません。集会では、浪江町から避難している門馬昌子

さんをはじめ、団体・個人のみなさんが原発をなくそうとスピーチ、サンバの演奏や黙祷もおこなわれました。



Samba na Rua(サンバ・ナ・ファ)の演奏

北区議会からは共産、民主、社民、新社の議員が超党派で参加。集会後は、ドラムのリズムに乗せてコールを響かせながら、王子の町をパレードしました。(のの山けん)